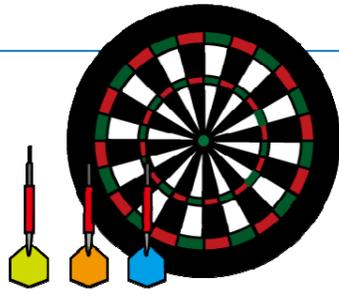


地域での活動

日本障がい者ダーツ選手権

1月31日、高井戸地域区民センターにて「日本障がい者ダーツ選手権」が行われました。

私自身は、普段ダーツをたしなんでいるわけではありませんが、障害者スポーツ(知的障害)の指導に10年携わっていることから、大会役員(ボランティア)として参加しました。



前日(1月30日)は会場設営のお手伝い、当日(31日)は「審判補助」として参加しました。



障害種別を問わない大会への参加は私自身初めてであり、**運営側に参加させていただいたことで、「どのようなことに配慮が必要か」、私なりに新たな経験**をすることができました。2020年のパラリンピックに向け、東京都が「障害者スポーツ振興基金」を設置する等、これまで以上に障害者スポーツに対する注目はあがってくると思います。主任コーチをしている「スペシャルオリンピックス(*1)・バレーボール・プログラム」にも、大学生のボランティア参加が増えておりますので、裾野を少しでも広げられるよう、これからも取組んでいきたいと思っております。

(*1)知的障害のある人達に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織

保護司に委嘱

旧知の方にご推薦いただき、**2月1日より保護司(*1)に委嘱**されました。

活動が本格化するのこれからとなりますが、委嘱されて以降、

- 新任保護司研修(2月1日)
- 地域別定例研修会(2月29日)
- 分区内の合同班会(3月19日)

に参加しております。更正保護(人の立ち直りを支える活動)の分野では、私自身、学ばねばならないことが数多くあります。誰もが住みよい地域社会となるよう、しっかり職責を果たしていきたいと思っております。



(*1)犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。

読み聞かせバザール

12月11日、小学校にて、全学年・全クラスでそれぞれ読み聞かせを行う「読み聞かせバザール」に参加しました。

私の担当は、6年生のクラス。これまで低学年にしか読み聞かせをしたことがなく、やや不安がありました。皆静かに聞いてくれました。

また、12月15日と3月1日には、子供が在籍する2年生に、読み聞かせを行いました。子供の成長につれて、こうした機会は少なくなっていくと思いますが、学校現場や子供達の様子を知る良い機会ですので、縁がある限り続けていきたいと思っております。



上:6年生に読んだ本
下:2年生に読んだ超大型本

【ご報告】議会内の活動として、これまで6人で会派(自民・無所属・維新クラブ)を組んでおりましたが、3月16日をもって、「自民・無所属クラブ」として5人で会派を組んでいくことになりました。

次回の定例区議会(平成28年第2回定例会)は、5月30日(月)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告 第50号(平成28年春号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(13歳)、長女(10歳)、次男(8歳)。

予算の「訂正」、異例の対応

～平成28年度杉並区予算の提案過程を分析する～

平成28年度杉並区一般会計予算が、3月16日の区議会において、賛成多数で可決されました。

予算の内容には私も同意し、賛成しましたが、その提案過程には多くの疑問・課題が残りました。

<当初予算の「訂正」及び補正予算追加の経過>

日にち	会議名等	概要
2月2日	議会運営委員会	平成28年度当初予算(案)を公表
2月17日	本会議	平成28年度当初予算(案)を上程、予算特別委員会へ付託(議案第31号)
3月1日	区長記者会見	平成28年度当初予算(案)の訂正 及び 補正予算(案)の追加 を発表
3月2日	本会議	平成28年度当初予算(案)の訂正の申出を議会が承認(岩田は、「議案を出し直すべき」と主張し、反対)
3月2日	予算特別委員会	訂正された平成28年度当初予算(案) 及び 追加提案された補正予算(案)の審議開始

<当初予算の訂正の内容>

- ◆「住宅施策の推進」のための用地取得費・解体費等を、「保育施設の整備」に移しかえ(7億8,000万円余)。
⇒議決科目である、款(「都市整備費」「保健福祉費」といった大分類)及び項(「都市計画費」「児童福祉費」といった中分類)での金額変更
- ◆上記の関連で、「住宅施策の推進」のための地方債を、「保育施設の整備」に目的変更(5億7,600万円)。
⇒地方債の「起債の目的」及び「限度額」の変更

<追加された補正予算の内容>

- ◆「保育施設の整備」に4,200万円余。



今回の「当初予算の訂正」及び「(当初予算を審議する前に)補正予算を追加」は、緊急対策として**保育需要の更なる増加に対応するものであり、内容面では理解**できます。

しかしながら、**政策判断で予算を訂正するのであれば、本来「議案を出し直す」べきです。**

今回の訂正を認めるようであれば、今後、議案として提出・上程された予算に対し、安易に訂正の申出がされ得ることを危惧し、私は「訂正の申出」には反対しました。

なお、今回の対応について、「1月下旬に保育園待機児の急増が判明したため」との説明がありましたが、(4月入園に向けた)保育所入所申込みの締切りは11月末であり、すぐに状況を確認していれば、今回の訂正や追加補正の内容は、そもそも当初予算に盛り込めたはずで、こうした**「区政の重要課題に対する感度の悪さ」も、予算特別委員会**で指摘をいたしました。

予算特別委員会



3月2日～15日、予算特別委員会が開催され、3日、8日、10日に質問者として登壇しました。また、15日には会派を代表して意見を述べました。以下、その一部を取り上げます。

* 予算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

3日	当初予算の訂正と補正予算(P. 1参照)
8日	多子世帯向け支援(保育)
	行政不服審査法改正 国民健康保険
10日	子供のスマホ
	小中一貫教育
	区営住宅駐車場 プログラミング教育

【子供のスマホ】

東京都教育委員会は昨年11月、児童・生徒がトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、「SNS東京ルール」を策定しました。

杉並区では、区立中学校PTA協議会が既に「子どものネット&スマホ すぎなみマナープロジェクト」に取り組んできましたが、今回の東京都の動きを踏まえた杉並区教育委員会の取組みについて、質問しました。



この問題は本来、**子供自身と親の問題**だと考えます。しかしながら、例えば「自分だけ午後10時以降はSNSを使わない(使えない)」とすると、友達から孤立する等の影響も危惧され、**学校という場を通じて子供達が自らルールをつくることは意義がある**と考えます。人間には「心理的リアクタンス(*1)」があるので、子供達が自ら守ろうと思えるルールづくりを、学校がうまく導くよう、求めました。

(*1)自由回復欲求。「やるな」と言われるとやりたくなる、「やれ」と言われるとやりたくなる心理。

【多子世帯向け支援(保育)】

平成28年度予算では、「多子世帯向け支援」として、

- ① 子育て応援券の増額
- ② 保育料負担軽減の拡充
- ③ 保育所入所基準の見直し(多子世帯優先)



が盛り込まれました。

多子世帯支援という政策は賛成ですが、「保育所入所基準の見直し」は、待機児童が120名～190名見込まれる現状(3月1日に区長が記者会見で発言。参考ながら、平成27年4月1日の待機児童は42名。)では課題もあると考え、質問しました。



制度設計によっては、「現在の待機児童よりも、これから転入してくる多子世帯が優先的に保育所に入園できる」ことになり、

➤ **現在区内に住み待機となっている世帯にとって、大きな不利益となりかねない**

という課題があります。

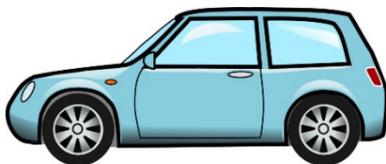
そもそも、「待機児童増加に伴う緊急対策」として、予算の訂正という異例の対応(P. 1参照)を行いながら、結果として保育ニーズの高い世帯を積極的に呼び込みかねない施策を行うようでは、「**ちぐはぐさを否めません**」。制度見直しの詳細を決めるにあたり、実施時期の延期を含め、現実を見据えた対応をとるよう求めました。

【区営住宅駐車場】

杉並区では、区営住宅駐車場の「地域住民への貸出」を行っております。

しかしながら、**現在は「月極」のみであるため、状況により「時間貸し」も導入してはどうか**と提案しました。

なお、このアイデアは、**年4回行っております「区政に関する意見交換会」**でいただいたご意見をもとに、質問をいたしました。



議会活動/調査活動

都市環境委員会 委員長として

3月16日の本会議において、**都市環境委員会の委員長として、「議案審査(3議案)及び陳情審査の結果報告」**を行いました。



委員長の職責は「公平・公正な委員会運営」であり、基本的に委員会での質疑は行いません。しかし、

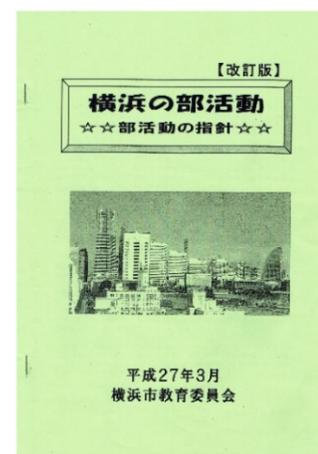
- ✓ どの案件を委員会の報告事項とするか
 - ✓ 請願・陳情をどのタイミングで取り上げるか等は、基本的に委員長の判断に委ねられます。
- 今回の**常任委員会委員長の経験を新たな糧として**、今後の議会活動にも活かしていきたいと思っております。



本会議での委員長報告

スポーツ議連での視察

12月16日、スポーツ振興議員連盟の一人として、**横浜市へ視察(テーマは「中学校の部活動」)**を行いました。合同部活動(近隣校と合同での活動)の取組みや、今後の方向性としての「兼部/シーズン制」の考え方、教職員の負担軽減に配慮した取組み等について、お話を伺いました。



杉並区では、平成25年度から中学校の**部活動活性化事業(民間事業者による部活動支援)**をモデル実施し、**28年度からは本格実施**として対象曜日等を拡充します。子供達のスポーツ環境をいかに充実していくか、議員として、そして地域の大人として引き続き取り組んでいきたいと思っております。

委員会/審議会での視察

12月14日、**環境清掃審議会の委員**として、
● 杉並清掃工場の建替工事現場の視察を、また、12月15日には、**道路交通対策特別委員会の委員**として、
● 東京外かく環状道路東名ジャンクション・本線シールドトンネル立坑工事現場 等の視察を行いました。



杉並清掃工場の建替工事は、来年9月まで続きます。今後、施設の老朽化に伴う改築・改修は、区政の大きな課題となります。財政面や施設の機能面だけではなく、**工事中における安全対策や周辺環境対策**についても、可能な限り現場を見て、チェックしていきたいと思っております。



杉並清掃工場の煙突 (3月中旬撮影)

サイエンスフェスタ

2月28日、セシオン杉並にて開催された「第1回すぎなみサイエンスフェスタ」を見学しました。当日は、企業や科学系団体等が多数の実験ブースを出展。**中学生による、作製プログラムの実演**も行われておりました。会場には、小さいお子さんを連れた親子連れが数多く参加していたのが印象的でした。



ITが社会の隅々にまで浸透している現代においては、**コンピュータ・プログラミングを始め、科学技術を体験的に学ぶ機会の充実は、これまで以上に重要**になると考えます。科学教育の充実に議員として取り組んでいくとともに、地域の大人として何が出来るかも考えていきたいと思っております。